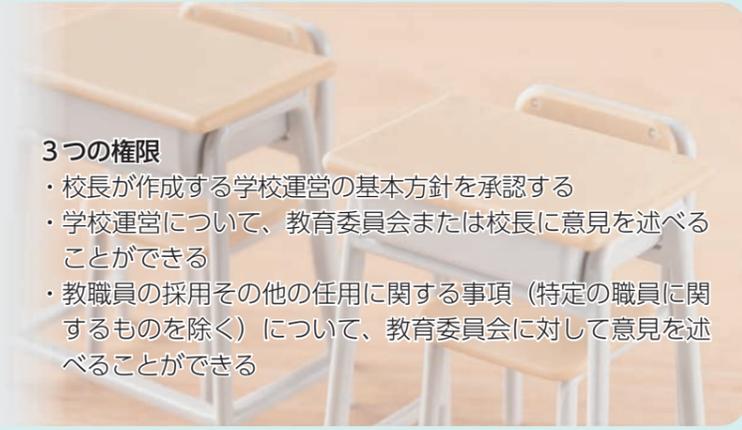


コミュニティ・スクール

市では、未来の野々市を担う子どもたちの健やかな成長を目指し、家庭・地域・学校が連携・協力しながら行う「地域とともにある学校づくり」を推進します。目標を達成するため、令和4年度から市内各小中学校に学校運営協議会を設置しました。市では学校運営協議会と、学校・地域の架け橋となる地域学校協働本部が連携・協働する仕組みをコミュニティ・スクールと言います。

問い合わせ
生涯学習課 ☎227・6117

コミュニティ・スクールの組織・仕組み



3つの権限

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ・学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる
- ・教職員の採用その他の任用に関する事項（特定の職員に関するものを除く）について、教育委員会に対して意見を述べるができる



幅広い地域住民や団体などの参画

PTA、文化団体、スポーツ団体、企業・NPO、社会教育施設・団体をはじめとする地域住民の皆さんが参画することで、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。

主な業務

- ・学校との連絡調整
- ・ゲストティーチャーの派遣
- ・地域の特色を生かした取り組みの企画・提案
- ・地域学校協働活動ボランティア人材バンク^{※1}の管理 など



子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、課題の解決と子どもたちの豊かな成長のためには、「地域総がかり」での教育の実現が不可欠です。コミュニティ・スクールは、地域住民と学校が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる制度です。この仕組みによって、保護者や地域の皆さんがより学校運営に参画しやすくなります。

なぜ、「コミュニティ・スクール」が必要になるのですか？

市の「コミュニティ・スクール」が目指すこと

例えば、先生からこんな要望が出たときです。
「ミシンの使い方を教えられる人員が不足している。地域の皆さんにサポートして欲しい。」

こうした要望に対して、地域の皆さんに支援が求められます。皆さんの協力により、子どもたちや学校からは「感謝」や「敬意」などの気持ちが生まれ、地域の皆さんにとっては「やりがい」「生きがい」「満足感」を得る機会となります。

学校

学校運営協議会（各校に設置）

地域学校協働活動推進員を各校1人配置

法律により示された3つの権限を担うことで、学校と地域が課題や情報などを共有し、子どもたちの教育環境をより良く整備していくものです。

地域

地域学校協働本部（生涯学習課内）

地域学校協働活動推進員（統括）を1人配置

地域と学校が目標を共有して行う「連携・協働」型の地域学校協働活動を推進する拠点です。

支援活動の
依頼・相談

依頼・相談に
対する支援

地域学校協働活動ボランティア人材バンク^{※1}への登録のお願い

※1 ボランティア人材バンクとは、地域の人がボランティア登録をし、学校の要望に応じた活動を行い支援していく仕組みです

あなたの特技や技能を子どもたちのために生かしてみませんか？

子どもたちや学校のために役立ちたいという思いがあれば誰でも参加できます。できるときに、できる範囲内で活動することを基本としています。活動を行う際は、学校ごとに配置している地域学校協働活動推進員がサポートします。

活動例

- ・本の読み聞かせや図書整理
- ・パソコン学習の補助
- ・庭木剪定や花壇などの環境整備
- ・郷土芸能や町の歴史などの紹介
- ・農業体験（田植え、収穫など） など

ぜひ登録をお願いします

ボランティア登録を希望する場合は、「地域学校協働活動ボランティア登録票」を生涯学習課へ提出します。登録票は市ホームページからダウンロード、または生涯学習課窓口で受け取れます。



市では、学校と地域の連携・協働により、未来の野々市を担う子どもたちの成長を支えていきます。